

京都大学大学院の特徴

- 5年一貫制のプログラム**
 学生は5年かけて専門性を構築し、視野を広げながら社会実装に取り組む。2年で修士号の取得も可能。異文化・異分野の学生とともに過ごす合宿型研修施設のラウンジでは、夜のオフィスアワーが週3回設けられている。
- 半年以上の「武者修行」**
 3～5年次には最低でも半年以上の国際実践活動を通じて、総合力、社会性の育成、リーダーシップ能力の増進を図る。派遣のためのファンディングが獲得できない場合は、学館からも渡航費と一定の滞在費補助がある。
- 智慧を構成する「聞思修」**
 智慧は、多くの知識や情報を集める「聞慧」、さまざまな知見に基づく創造的な「思慧」、これらを実践することで身につく「修慧」によって構成される。この「聞思修」の考えのもと、専門的知識と総合的俯瞰力、実践力を養成。



SDGs (持続可能な開発目標) 達成のためにさまざまな学びを深める学生たち

人間的魅力と社会的
俯瞰力を兼ね備える
グローバルリーダーを育成

私が目指すSDGs

実務経験を積んでから国際公務員になって、貧困削減のための天候インデックス保険を実現したいと思っていました。「2030年までにあらゆる形態の貧困に終止符を打つ」というSDGsのプロセスに携わりたいです。

1 貧困をなくそう

学生さんに聞きました!

藤田 萌さん
第4期履修生



国際機関を目指すなら絶対におすすめです!

高校時代、「ワーキングプア」を特集したテレビ番組にショックを受け「貧困削減に貢献したい」と考えました。大学時代に留学先のコロラド大学でマイクロファイナンスに出合って金融に興味を持つようになり、その後MBA取得のため入学した京都大学修士課程在学中に思修館の存在を知りました。将来国際公務員として社会に寄与したいと入学を決めました。

現在貧困削減のための天候インデックス保険開発を目指して研究しています。4年次の武者修行では、国連開発計画のインターンとして、タイとベトナムでプロジェクトの情報収集やレポート作成などを経験し、勉強になりました。また「八思」を通じて幅広い教養を身につけ、自分で考えて形にしていく力を育てることもできました。求められるレベルは高いけれど、国際機関に興味を持つ人にはおすすめです。

取得可能な学位：修士（総合学術）、博士（総合学術）
 定員：20人
 学費：54万円
 開講形態：昼
 奨学金：あり
 所在地 〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1東一条館1階
 T e l 075-762-2001
 M a i l info.shishukan@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
 H P https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/



京都大学大学院

総合生存学館（思修館）

2013年に創設された京都大学大学院の総合生存学館（思修館）は、世界を変えるグローバル人材の精鋭育成を目指す5年一貫教育の大学院。文理の壁を超えたオールラウンド型の博士課程教育リーダーシッププログラムの実施組織として設立され、複合的社会課題の解決方法を研究し、実践する応用力を養う。

「医薬・生命」「人文・哲学」「情報・環境」など8分野から専門以外の分野・科目を履修する「八思」と、各界のトップリーダーとディスカッションを行う「熟議」が大きな特徴だ。国際機関で働くための書類作成トレーニングも兼ね、教材には国連機関の公式文書も活用し、世界の動向を把握できるようにしている。

現場での実践にも力を入れており、1・2年次は国内外でボランティアやフィールドワークを行う「サービスマスターング」を実施。その経験や思修館での学びをもとに、3年次以降には最低でも半年以上、

国際機関や国際NGO、企業などで実務に携わる「武者修行」が必須となっている。「社会を変えるソーシャルイノベーターになる気概のある人、学際的な研究をして社会的問題を解決したい人を歓迎します」と学館長の寶馨教授。

修了後は国際機関や行政機関の職員、民間企業、起業家、研究機関などさまざま。休学して外務省在外公館専門調査員として海外赴任した学生もおり、在学中の活動で育んだ人脈が修了後の進路につながることも少なくない。



寶馨 (たからかおる) 先生
総合生存学館(思修館)学館長・教授

地球上の水循環を研究する「水文学」を中心に、土木工学、自然災害科学、防災技術政策を専門に教鞭をとる。